

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
 施策 04 上下水道の安定持続
 主管課： 上下水道課
 関係課： 生活環境課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、上下水道事業を持続する。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合 (%) 上下水道課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
88.80	81.30	88.50	89.00	89.50	90.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値から0.3ポイント減少したものの、昨年度からは7.2ポイント増加しました。 (原因) 地区別の満足度は、何れも85%を超えており、特に昨年度77.4%だった北守谷地区は87.0%と大きく増加しました。年代別では、何れの年代でも85%を超えており、10代から30代、60歳から64歳では90%を超えています。昨年度は利根川水系の濁水により10%の取水制限が実行されましたが、市民生活に影響のない安定した給水ができたことも満足度が高かった要因と考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

下水道放流水質基準の適合率 (%) 上下水道課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度同様、基準値及び目標値と同じ100%となっています。 (原因) 浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業場排水調査に基づく適切な事業所への排水指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値が達成できたと考えられます。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込
事業費合計	4,196,337	4,045,732	4,185,136	4,527,927	4,101,995
人件費	0	0	82,717	0	0
トータルコスト	4,196,337	4,045,732	4,267,853	4,527,927	4,101,995

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 水道水の安定供給	維持	低下			1,206,029	1,092,475	1,041,294	1,222,210	1,199,682
02 汚水の安定処理	維持	横ば			1,067,591	946,809	1,148,617	1,202,678	908,048
03 雨水の適正排水	維持	向上			7,940	11,178	6,798	60,781	25,072
04 健全な上下水道事業の経営	低下	低下			211,413	207,478	249,266	277,414	234,414
99 施策の総合推進					1,703,364	1,787,792	1,739,161	1,764,844	1,734,779

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

引き続き、年次計画に基づき、鉛製給水管及び石綿管の更新並びに浄化センターの改築更新を実施していきます。 また、事業の持続と安定した経営を行うため、水道では、新水道ビジョンや経営戦略の策定、下水道でも、ストックマネジメント（既存施設の長寿命化対策等）や経営戦略の策定及び事業認可変更に向けた取組を進めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

施策全体としては、大きな問題やトラブルもなく、順調な事業運営を行っています。 今年度も年次計画に基づき、鉛製給水管及び石綿管の更新並びに浄化センターの改築更新を行います。 安定した水道水の供給と汚水処理を継続するためには、水道・下水道全施設を対象とした耐震化及び老朽化対策が必要ですが、費用と時間を要することから、今年度から水道計画・下水道計画の策定に着手し、事業継続のための経営戦略に基づいた事業実施に取り組んでいきます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

年次計画に基づき、鉛製給水管及び石綿管の更新並びに浄化センターの改築更新を実施していきます。 また、安定した上下水道事業の継続を図るため、経営戦略を含めた水道計画・下水道計画を策定します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減